



県立延岡病院「心臓脳血管センター」

(4) 在宅療養が可能な体制づくり

①	緩和ケア等にも対応できる在宅医療を支える多様な人材の確保及び育成
②	かかりつけ医を中心とした、歯科医師や薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、介護支援専門員等、地域の実情に応じた多職種連携による在宅支援チームの構築

5. 目標

指標	現状	⇒	目標
健康寿命 ※出典：厚生労働科学研究	男性 73.30 女性 76.71 (令和元年)	⇒	男性 延伸 女性 延伸 (令和11年)
心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万人対) ※出典：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	男性 202.7 女性 119.8 (令和2年)	⇒	男性 全国平均以下 女性 全国平均以下 (令和11年)
虚血性心疾患受療率(入院) ※出典：厚生労働省「患者調査」	9 (令和2年)	⇒	減少 (令和11年)
救急要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した平均時間 ※出典：救急救助の現況	43.1分 (令和3年)	⇒	減少 (令和11年)
心大血管疾患リハビリテーシ ョンが実施可能な医療機関数 (人口10万人対) ※出典：診療報酬施設基準	1.4 (令和5年)	⇒	増加 (令和11年)
特定健康診査実施率 ※出典：特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	51.5% (令和3年度)	⇒	70.0% (令和11年度)
特定保健指導実施率 ※出典：特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	26.5% (令和3年度)	⇒	45.0% (令和11年度)